

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	広島県立もみのき森林公園		
所在地	廿日市市吉和 1593-75		
設置目的	すぐれた自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	もみのき荘、体育館、研修棟、サイクリングロード、テニスコート、オートキャンプ場等		
指定管理者	6期目	R6.4.1~R21.3.31	もみのき森林公園管理グループ【(株)第一ビルサービス、(株)Recamp、(株)ステップアウト】
	5期目	R3.4.1~R6.3.31	(一財)もみのき森林公園協会
	4期目	H28.4.1~R3.3.31	(一財)もみのき森林公園協会
	3期目	H23.4.1~H28.3.31	(一財)もみのき森林公園協会 (H25.4.1~) (財)もみのき森林公園協会 (~H25.3.31)
	2期目	H20.4.1~H23.3.31	(財)もみのき森林公園協会
	1期目	H17.4.1~H20.3.31	(財)もみのき森林公園協会

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	6期	R6	169,814人	114,100人	△1,233人	△55,714人 (67.2%)
5期平均	R3~R5	158,333人	115,333人	△46,667人	△43,000人 (72.8%)	
4期平均	H28~R2	182,800人	162,000人	△25,020人	△20,800人 (88.6%)	
3期平均	H23~H27	195,400人	187,020人	△2,647人	△8,380人 (95.7%)	
2期平均	H20~H22	193,067人	189,667人	7,834人	△3,400人 (98.2%)	
1期平均	H17~H19	193,000人	181,833人	—	△11,167人 (94.2%)	
増減理由	リニューアル*1年目で、キャンプ場中心の運営に変更したところ、キャンプ場の利用者数は増加したものの、初年度でPRが十分行き届かなかったことや、酷暑日が長期化した影響等で夏季のキャンプが想定よりも下回ったため、目標値を達成することができなかった。 ※ 事業者が土地を借り受けながら、投資と創意工夫により新たな魅力創出を行う「民間活用エリア」と、引き続き指定管理者制度により管理を行う「自然公園エリア」を、15年間を通じ一体的に運営					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	WEBアンケート (インターネット予約サイトなつぷ、Google フォーム)	インターネット予約サイトなつぷ : 28件 Google フォーム : 127件
	【主な意見】	【その対応状況】
	チェックインの受付対応に時間がかかる	スマートチェックインの導入

4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報	—	
管理運営会議等 (月1回)	【特記事項等】 もみのき森林公園管理グループと県で管理運営会議 (WEB) を月1回実施し、運営状況の報告と施設管理上の課題の共有を行っている。		
現地調査 (3月)	【指定管理者の意見】 突発的な事態や設備の修繕について、会議にて情報共有し、方針決定したため迅速な対応ができた。 【県の対応】 指定管理者と協議しながら迅速かつ、計画的に修繕工事を実施した。		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	6期	R6				6期	R6		
県委託料 (決算額)			21,790	△12,260	料金収入 (決算額)			14,341	△17,749
	5期平均 R3~R5		34,050	17,740		5期平均 R3~R5		32,090	△7,283
	4期平均 H28~R2		16,310	5,690		4期平均 H28~R2		39,373	△1,405
	3期平均 H23~H27		10,620	200		3期平均 H23~H27		40,778	△2,040
	2期平均 H20~H22		10,420	△272		2期平均 H20~H22		42,818	△4,862
	1期平均 H17~H19		10,692	—		1期平均 H17~H19		47,680	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	21,790	39,860	△18,070	基盤整備工事等に伴う休業補償の減
		料金収入(※1)	14,341	36,592	△22,251	運営方法の変更による宿泊施設利用者減
		その他収入	2,470	4,861	△2,391	宿泊等にかかる利用料減免の減
		計(A)	38,601	81,313	△42,712	
	支出	人件費	36,304	72,392	△36,088	管理者変更に伴う体制変更による減
		光熱水費	7,377	12,360	△4,983	宿泊施設利用者減に伴う使用量の減
		設備等保守点検費 清掃・警備費等	5,394	7,377	△1,983	保守点検の直営化等による減
		施設維持修繕費	1,536	557	979	施設老朽化・各種機器劣化への対応
		事務局費	336	682	△346	
		その他	1,055	13,041	△11,986	リース料、備品処分費等の減
計(B)		52,002	106,409	△54,407		
収支①(A-B)		△13,401	△25,096	11,695		
自主事業 (※2)	収入(C)	30,480	40,604	△10,124	運営方法の変更による宿泊施設利用者減に伴う飲食売上の減	
	支出(D)	45,792	16,123	29,669	リニューアルオープンに伴う運営経費の増	
	収支②(C-D)	△15,312	24,481	△39,793		
合計収支(①+②)		△28,713	△615	△28,098		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。令和5年度報告までは、自主事業の収支は委託事業に含めていたが、令和6年度報告から分けて記載することとした。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	新指定管理者として、リニューアルオープンに伴い、事業計画に沿った管理運営を実施した。	利用者アンケートの声を反映するなど、事業計画達成に向け、利用増を図る取組を実施するとともに、適切な施設管理運営に努めている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	地域団体の協力を得てヤマザクラやスイセン等の花木を植栽し、親しみやすい公園管理を行うとともに、環境美化に努めた。	地域団体との連携、SNSを活用した情報発信、キャンプ用品のレンタル充実など県民サービスの向上と利用促進に積極的に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	HPをリニューアルするとともに、広報活動の充実やSNSの活用によるリアルタイムな情報発信に努め、利用促進を図った。	もみのき荘の宿泊者やキャンプ場利用者が伸び悩み、入場者数目標を下回ったことから積極的な広報が必要である。
	○施設の維持管理	事業計画に基づき定期点検と維持修繕を実施した。	利用者の安全確保と快適性向上に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	指定管理者の変更に伴い、人員配置を見直し、適切な管理運営に努めた。	役割分担を定め、適正かつ効率的な管理体制を確保している。
	○効率的な業務運営	自社の予約サイトを活用する事により、予約手続きの効率化を図るなど人件費削減に向けた取組を実施した。	スマートチェックインの導入など効率化に向けた取組は評価できる。
	○収支の適正	令和6年度は民間活用エリアで施設整備投資を進めるため、合計収支は赤字の計画で運営を進めていた。売上目標を達成しなかったため計画以上の赤字となった。	事業計画では、令和6年度の収支はマイナス(△24,770千円)を見込んでいた。しかしながら、計画より実績が下回っているため、施設の利用促進を積極的に図り、収支を改善する必要がある。
総括		民間活用エリアでキャンプ事業を中心に施設全体の利用者増を達成していくことが課題である。そのために、市場動向を把握し、適切な施設運営を行っていく必要がある。	トイレの洋式化や炊事棟のリニューアル、ドックラン付きサイトの新設により、キャンプ場予約サイトのクチコミが高評価であるなど、利用者の満足度は向上している。 一方で入場者数や収支が計画を下回っており、利用促進策に取り組む必要がある。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和7年度)	これまでの固定客及び新規客のニーズを把握と、キャンプサイトの稼働率の検証等を行うことで、施設の利用促進に繋がる取組を実施する。	施設の利用促進に向けたイベントが、より効果を発揮できるよう広報支援を行うとともに、管理運営会議にて積極的に意見交換を行い、運営にかかる課題解決策の実行支援を行う。
中期的な対応	顧客ニーズの把握と検証のサイクルを継続することで、幅広い利用者層を魅了させ、来場につなげる。また、施設のリピーターやファンを増やし、事業計画の達成を目指す。	事業計画に沿った施設運営が持続的に実施できるよう、指定管理者と施設の最適な管理・運営方法について、引き続き検討していく必要がある。